

◆ポリ含有廃菌床の再生燃料化利用によるエネルギー自給型シイタケ生産システムの確立の開発 (2011～2013年度)

共同研究機関: 株式会社オーテック(中核機関)、(国)岩手大学工学部、
(独)農業・食品産業技術総合研究機構(東北農業研究センター)
普及支援担当: 株式会社北研食品菌類研究所、岩手県森林組合連合会盛岡木材流通センター、
花巻農業協同組合北上地域営農センター園芸販売課、ワールド熱学有限会社、
さつき株式会社

研究概要: 高水分で燃料にならないポリ含有廃菌床を、溶解開発技術である油加温釜で加熱された廃グリセリンで水分を蒸発させて、ポリ含有燃料に再生する。気化した水分に含まれる臭気はバイオマス燃焼炉で処理する。再生燃料は逆燃焼方式のバイオマス燃焼炉でバークと高温湿焼して高圧蒸気ボイラの熱源(石油代替)とする。高圧蒸気は菌床殺菌、シイタケ栽培施設の冷暖房の熱エネルギーに使用して燃料費の削減を達成する。



ポリ含有シイタケ菌床



燃料化したポリ含有廃菌床

課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



株式会社オーテック
小原 勝久

積雪寒冷地での菌床シイタケ栽培に関する問題点の解決に向けた協力と、提案書のブラッシュアップを東北ハイテク研究会にお願いしました。

ポリ含有廃菌床燃料化に関する有益なご指導(技術に踏み込んだ助言や研究グループの構成等)や6次産業化に関する的確な助言(行政的視点等)をいただきました。

採択に至りましたのは、東北ハイテク研究会の事務局長さん、コーディネーターさんの適切な支援があったからだと思っております。